



おひさまっこ



月



雨上がりの道端でいつものように散歩をしていたら、大きな水たまりを発見！！子どもたちの目がきらりと光り、水たまりの中に突進していきました。想像をこえる行動に長靴の中も、びしょびよになりました。「あ〜あ〜」と思う大人に子どもたちは「してやったり！！」の表情でした。

入園してから2か月を過ぎようとしています。時間の速さに少し驚いていますが、できなかったことができるようになっていく子どもたちの成長を見ると、時が経つことも楽しみに感じます。今後もどんな姿を見せてくれるのか、成長に期待が膨らみますね。子どもたちの成長を保護者の皆さまと一緒に見守っていけるよう、日々配慮して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。6月は雨が多く、登降園の際に滑りやすいので、十分気をつけてください。



- 4日(金) 発育測定
- 10日(月) 保育料引き落とし
※保険料 200円含む
- 14日(金) 命を守る訓練
- 17日(月) 誕生会

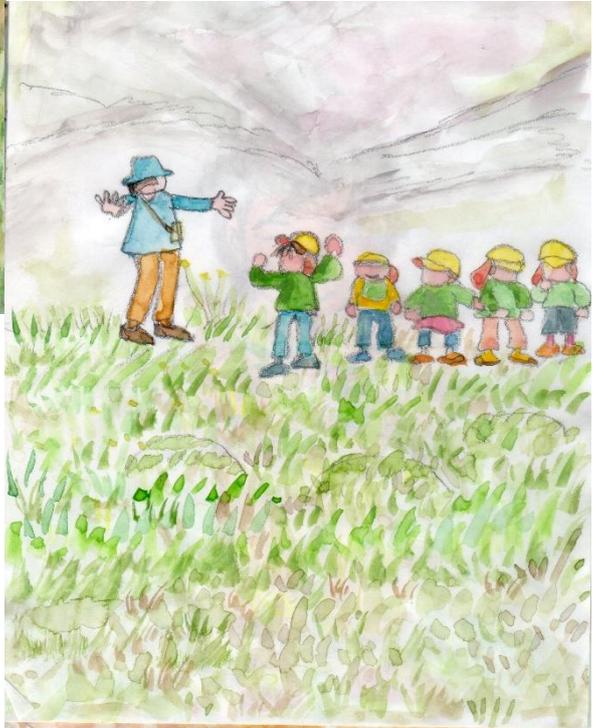
※土曜保育希望の方は27日(月)までに書類(当日の両親の就労証明)を提出してください。

生活に大切な歯と時間

6月4日を「虫歯」に語呂をあわせて「虫歯予防デー」としたのは1928(昭和3年)のことでしたが、すでに室町時代から、氷やかきもち、あられを6月1日に食べ、歯や体の健康を保つならわしがありました。また、6月10日の「時の記念日」としたのは1920(大正9)年ですが、これは天智天皇の漏刻という水時計を使い始めた日にちなんでいます。人間の生活にたいせつな歯の健康や時間について、昔のならわしを今の時代に生き返らせた行事が6月にあるのはとても素晴らしいことだと思います。(かこさとしのこどもの行事より)



天気の良い日はいつものようにお散歩に出かけます。毎日、違う発見があって子どもたちの声が響き渡っています。シロツメクサをつんだり、てんとう虫を見つけたり春ならではの自然の中で遊んでいます。



土手の上で「ヤッホー」「バンザーイ」と声をあげ土手にのぼることができた喜びを味わっています。初めはのぼれなかった子がいつの間にか一人で登れるようになって、自分でのぼれた子が下にいる子に「おいで～」と声をかけ挑戦しています。1度のぼれるようになると楽しくなってきた、なんどもなんども、挑戦しています。土手をのぼることで、子どもたちは、足腰がどんどん丈夫になっていきますね！！



お部屋で遊んでいたTちゃん。部屋を行き交う子どもに手のひらを踏まれて、大泣き。隣にいたM君が泣いているTちゃんを見て急におなかをポ〜ンと出してプルプルと動かしました。すると、大泣きしていたTちゃんが大笑いしました。それを見ていた保育士もつられて笑ってしまいました。ユニークなM君、Tちゃんを笑顔にしてくれて、ありがとう。

【編集後記】

日々の生活というのは本当に大切だと感じています。靴や靴下をはくとき、あたりまえのように「はいはい」と言って、子どもたちにはかせていましたが、自分から靴下や靴を履こうとする子どもたちが多くなります。「大人になって当たり前にはできることは無理してやらせなくていい。」と勉強してきた私ですが、2歳や3歳で自分からやろうとする姿に、「すごいね～」「できるんだね～」とほめています。ほめると得意げに微笑んでくれます。多少、靴下の表裏のまちがいがあっても、あとで直してやることにしています。むしろ、「できた～」という子どもたちの喜びを受け止めています。(園長談)

